

江戸時代初頭の諸産業

17世紀後半以降の1世紀間、農業・手工業など諸産業で著しい発展が見られた。この発展を理解するために、16～17世紀半ばにかけての諸産業を概観しておく必要がある。この時期で特筆すべきは、農業が社会基盤として重視されたことで、新田開発が進み、全国的な耕地と村の増加が起きたことである。

○農林水産業

●農業

<近世の農業の特徴 | 16～19世紀)>

近世の農業は次の特徴をもち、幕藩体制を支える基盤と考えられた。

- ①低い労働生産性…狭い土地に対して、集中的な労働力
- ②高い土地生産性…狭い土地に対して、多い収穫量

<農業の推進と年貢米の増収>

17世紀初頭以降、幕府・大名は次の施策で農業の推進を図った。

- ①灌漑用水の整備…⁽¹⁾ _____ (水源：芦ノ湖)・見沼代用水 (分水：利根川)
- ②⁽²⁾ _____ …有明海 (干潟干拓)・下総 椿 海 (湖沼干拓)

⇒全国の耕地が増加し、併せて村も形成されて年貢米の増収をもたらした。

◇(2) …17世紀末から、有力商人が開発に出資する⁽³⁾ _____ が増加



図1 江戸時代の椿海

<農具>

鋤・鍬・鎌に加え、牛馬などの畜力^{ちくりよく}を利用する犁^{すき}なども普及した。

⇒農具は鉄製で、城下町の職人が村を回って生産・修理した。

<肥料と生産物>

肥料として、刈敷^{かりしき}・草木灰^{そうもくばい}・下肥^{しもごえ}が基本的に使用された。



米以外に、自給自足用の雑穀と、換金用の商品作物が生産された。

⇒商品作物の生産は、1643年の⁽⁴⁾ _____ で抑制されたが、

⁽⁵⁾ _____ と総称する「茶・桑・楮・漆」「麻・藍・紅花」は奨励された。

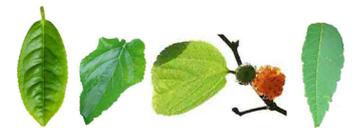


図2 茶・桑・楮・漆



図3 麻・藍・紅花

●林業

山地は幕府や藩に直轄支配され、材木が伐り出されて商品化された。

⇒材木は、秋田藩の⁽⁶⁾ _____ や尾張藩の⁽⁷⁾ _____ が有名である。



村は、領主に⁽⁸⁾ _____ を納めることで山地の利用を許され、

その一部は⁽⁹⁾ _____ として村に共同利用された。

◇(8) …山野河海^{さんやかかい}はあくまでも領主の直轄地のため



図4 木曾檜の伐採作業

●漁業

漁業は、食料供給と魚肥^{ぎょひ} (魚類を原料とする肥料) 利用を目的に多様に発達した。

⇒漁法は網漁を中心とし、技術は上方の漁民^{かみがた}によって全国に広まった。

○その他の産業

●手工業

職人は町や村に住み、幕府や大名に国役として無償で技術労働を奉仕した。
⇒職人は、百姓の負担や町人の負担（町人足役）を免除された。



17世紀半ばの手工業の発達にあわせ、職人は⁽¹⁰⁾ _____（組合）をつくった。
⇒都市の職人の人口が増加し、ほとんどが借家として定着した。



村では、零細な家内手工業が、製紙・織物・紙漉^{かみすき}・酒造などの分野で、早期から見られた。

◇紙漉による和紙の生産は、流漉^{ながしすき}という技術とともに全国に拡大



図5 流漉

●鉱山業

戦国時代に鉱山開発が進み、鉱山町が形成された。

→鉱山には、佐渡金山・石見大森銀山、住友家が経営する別子銅山などがあつた。

→鉱物の中で、⁽¹¹⁾ _____は世界でも有数の生産量を誇り、主要な輸出品であつた。

⇒17世紀後半に金銀の産出量は減り、かわつて⁽¹²⁾ _____が最大の輸出品となつた。

◇(11) …灰吹法^{はいふきほう}と呼ばれる製錬技術で生産

◇鉄…足踏みふいごで空気を送るたたら精錬が、中国地方を中心に展開

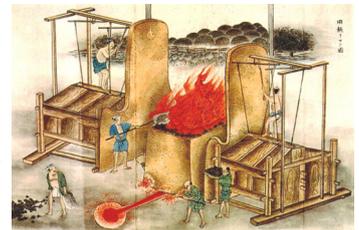


図6 たたら精錬

●商業

江戸時代初頭、権力者と結んだ特権的商人⁽¹³⁾ _____が活躍した。

→次のような(13)が代表的で、朱印船貿易などで巨万の富を得た。

①長崎…末次平蔵^{すえつくへいそう}

②摂津…末吉孫左衛門^{すえよし}

③京都…⁽¹⁴⁾ _____・⁽¹⁵⁾ _____

⇒(13)は、鎖国や陸上・水上交通で一般商人の参入が増加すると衰退した。

◇(14) …賀茂川・富士川・高瀬川などの水路開発に従事



図7 角倉了以の朱印船



17世紀後半になると、次の三者による商品流通の機構が整備された。

①⁽¹⁶⁾ _____…生産者あるいは仲立業者から商品を買入れ、
直接消費者に売る者あるいは別の仲立業者に売り渡す業者

②⁽¹⁷⁾ _____…生産者と(16)、(16)と直接消費者に売る者の仲立業者

③⁽¹⁸⁾ _____…(16)(17)から商品を買入れ、消費者に売る者

<問屋・仲買>

都市や生産地で業種ごとの⁽¹⁹⁾ _____（組合）をつくり、
また独自の法である仲間掟を定めて営業権を独占しようとした。

<小売商人>

小売の販売形態は、店舗をもたずに歩いて販売する⁽²⁰⁾ _____や、
常設・路上店舗での販売など多様であつた。



図8 棒手振

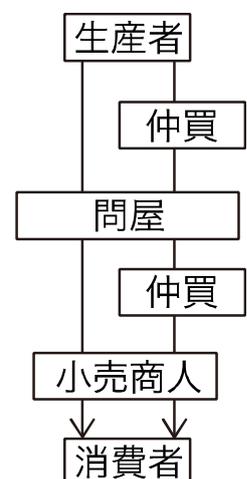


図9 商品流通
*矢印方向に販売